

拝啓



時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度は、サカイウキャンプへのお申込みを頂きまして誠にありがとうございます。今回は、サカイウキャンプを更に深くご理解頂く事を目的としてご連絡致しました。

サカイウキャンプというのは、「サッカーの競技特性は子供の成長を促す要素が数多くある」という想いのもとで行われています。サッカーは全ての局面、場面で監督やコーチの指示をいちいち仰ぐ事無く、自分で判断して解決していくスポーツです。

例えばパスがきたら、次にトラップするのか、シュート（キック）するのかを自分で決めなければいけません。「自分で考えて、自ら行動する力」がとても必要なのです。

サッカーは得点数を競うゲーム（遊び）です。ゲーム（遊び）なので楽しくなければいけません。強制的に、無理矢理やらされるものではなく主体的にプレーするものです。コーチ達は、子供達が夢中になってプレーしながらサッカーの本質を感じて欲しいと考えています。また、サッカーは個人スポーツではなく集団スポーツです。個人の満足（わがまま）だけを追求する訳にはいきません。個人の満足と、集団の満足（勝利）のバランスを取ることが求められます。そこには自己主張が必要な場面もありますし、仲間の意見を受け入れなければいけない場面もあります。他者との関わり方を学ぶ事が出来ると思います。

以上は数例ですがコーチ達はこのような事を考え、子供達のプレーヤーとしての成長と人としての成長を、サッカーを通じて、またサカイウキャンプを通じて促していこうとしています。

また、サカイウキャンプは“非日常体験が子供を変える”と考えています。可能な限り保護者の方の関与のない中で本来子供達が持っている「自ら行動する力」を引き出し、自立を促すことも目的としています。保護者の方の思いとして不安材料（宿泊、1人での参加等）が数多くあることは重々承知しておりますが、我が子の生きる力を信じて、キャンプ期間中（準備から最終日まで）は出来るだけお子様との距離を取り、見守る姿勢をお取り頂くことをお勧めします。

2017年の夏のサカイウキャンプからライフスキルを本格的に導入しました。ライフスキルとは「スポーツを通じた人づくり」です。サッカーを通じて子供の成長を促すサカイウキャンプと、ライフスキルには共通点が数多くあり、サカイウキャンプを更に質の高いキャンプにする為に導入する事となりました。これから子供達が生きていく社会は、2020年の大学入試改革やAI（人口知能）テクノロジーの進化により、求められる能力が私達親世代とは大きく変化するといわれています。思考力・判断力・表現力、それらを基にした問題解決能力が必要とされています。簡単に言うと、“自分で考えて、行動を起こせる力”です。これはサッカープレーヤーにおいても求められる力であり、逆に言うとサッカー選手として成長、また成功する為にはこの能力が必要だということです。

サカイクキャンプでは以下のライフスキル 5 項目を中心に子供達の将来を見据え、“サッカーを通じた人としての土台作り”を行っていきたいと考えています。

① 「考える力」

自らの判断でプレーするサッカーでは、自分で考え、主体的に行動する力が求められます。

② 「チャレンジ」

失敗を恐れてプレーしては必死に守る相手からゴールを奪う事は難しくなります。幾度と無く、あきらめる事なく空いているスペースへ走り、ドリブルでゴールへ向かい、シュートを打つ。決してあきらめない、チャレンジする気持ちが必要です。

③ 「感謝の心」

試合に勝ったら嬉しい、得点したら嬉しい、プレーを褒められたら嬉しい、逆に負けたり、上手くいかなかったりすると悔しい。そういう様々な気持ちを持てるのも対戦相手がいるからです。だからこそ試合が終わればお互いに“ありがとう”と握手をして欲しいのです。

④ 「コミュニケーション」

自分以外の 10 人のチームメイトと攻守において意思の疎通を図りながら勝利を目指すので、自分以外の他者とのコミュニケーションを取る必要があります。

⑤ 「リーダーシップ」

チームメイトの事を理解してプレー（行動）する事で、周囲に良い影響を与える事が大事になります。

これらのライフスキル 5 項目を柱としてピッチ内外問わずあらゆる場面や方法で投げ掛け、問い掛けて伝えていきます。またキャンプの短期間だけで力が付くとは考えていません。大事なのはキャンプが終わってからの日常だと考えています。保護者の方と我々サカイクキャンプスタッフの共同作業で、子供たちが今後の社会を力強く生きていく為の力を付けていく事を強く願っています。

それではサカイクキャンプで子供たちの笑顔に出会える日をスタッフ一同楽しみにしています。

敬具